



LOMの運動に使える
KANCHIKU
PROPOSAL

第72回関東地区大会とちぎ大会

広域経済圏構築委員会の事業

“Digital Dream Teamプロジェクト:デジタルの可能性”
にご参加いただきありがとうございます。

この資料は、LOMの本年度や次年度の運動構築に向けた提案書です。

LOMの管轄地域の、**デジタル技術による地域経済の発展**に関する運動の例会や事業に使えます。

議案作成や基本方針、所信などのヒントとしてご利用ください。



新たな広域経済圏のモデルケースを 発信する事業

地域経済の活性化と成長を促進するため、デジタル化を積極推進します。生産者と地域企業が連携し、新たなビジネスチャンスを探求します。また、地域の魅力を世界に発信し、潜在的な可能性を引き出します。皆さんの参加をお待ちしています。

今回ご参加いただいた事業について

注目点:

- 著名人とのクロストークディスカッションによる地域課題とデジタルの関係より導き出される答えに着目して下さい。

工夫した点:

- 経済を語る成田悠輔様、デジタル大臣の立場から国政を語る河野太郎大臣の2者が地域課題とデジタル技術の関係を明らかにし、各LOMメンバーが運動に希望を見出すことが出来る様に事業構築いたしました。

LOMで応用するPoint:

- 著名人や業界のリーダーとのコラボレーションを通じて、ビジネスの信頼性や影響力を高め、地域課題への解決策を提供する経済とデジタルの結びつきを強調し、成果を示す工夫が際立っており、地域コミュニティの活性化とデジタル技術の普及を促進する事業となります。



広域経済圏構築委員会のこれまでの運動

2/10(土)@東京都狛江市

「あなたが創造る未来～地域活性化シンポジウム～」

佐野市行政担当者と小林代議士、酒田委員長を交えて、佐野市の課題についてパネルディスカッションを行い、佐野市の社会課題解決のためのデジタルの可能性について模索を行いました。

5/11(日)@栃木県佐野市

「地域課題ラボ～導入編～」

佐野市内のモニター企業を選定し、新規事業の立ち上げに至るまでで得られた知見に加えて中間成果発表を行うことで、来場者に向けて首都圏外における地域発展に向けたデジタル技術活用のモデルケースを提供に向けた事業を開催いたしました。

広域経済圏構築委員会からLOMの皆さまへ こんな運動に使えるよ！のススメ

地域のITリテラシー向上プログラム:

地域の皆様が参加することで、ITスキルの向上につながる事業を開催します。この事業は、地域全体の能力向上を目指しLOMの事業構築のヒントになります。

デジタルデバイドの解消:

地域の課題であるデジタルデバイドに対処し、地域住民が自らの主体性で解決する意識を醸成します。

デジタル活用の普及:

地域住民が実践的なデジタル活用の事例を学び、個人や地域組織のデジタル活用のアイデアを促進します。これにより、議案構築の一助となります。

広報のIT化:

地域住民がデジタル活用事例を学ぶことで、効果効率的な広報戦略の立案を実現するきっかけとなります。

この事業は、地域の皆様がITリテラシーを向上させ、デジタルデバイドを解消し、デジタル活用を普及させ、地域の広報をITで行うためのスキルと知識を獲得する理想的な機会です。

最後に…

広域経済圏構築委員会とは？

私たちの目的は？

地域の課題解決に取り組める新たなデジタル技術の可能性を理解し、地域経済を発展させること

なぜ広域経済圏構築委員会が設立されたのか？

生産年齢人口の減少による経済規模の縮小は地方経済に多大なる影響を及ぼしており、首都圏全域で看過できない問題となっております。この社会課題を解決すべく、デジタル技術と地域間連携を兼ね備えた各地域の関係人口を拡大できる持続可能な地域を構築する必要があります。そのモデルケースを発信する委員会として広域経済圏構築委員会を設立いたしました。



お問い合わせはこちら！

広域経済圏構築委員会

委員長 酒田 裕貴(横須賀JC所属)

TEL:080-3437-1818

MAIL: africayuki@gmail.com

